

獅子島小・中学校進路講演会

プロバスケット選手からのメッセージ

6月26日、獅子島小・中学校（金子哲之校長・生徒数43人）で、第一線で活躍している社会人を招き、「進路講演会」を開催しました。今回は、鹿児島のプロバスケットボールチーム「鹿児島レブナイズ」の玉田博人選手に講演していただきました。玉田選手は、試合のエピソードやファンのかたに支えられていることを実感したことから、生徒たちに「周囲の人に支えられていることを忘れないでほしい」と話しました。

講演の後には、生徒たちは玉田選手とバスケットボールをして楽しみました。

小学5年生の池田悠貴那さんは「将来について良く考えたいと思いました。バスケの試合も楽しかったです」と話しました。



↑試合後に生徒とふれあう玉田選手(写真右)

長島町建友会がボランティア

海開きに向けて

長島町建友会（木場盛二会長）は6月27日、海開きを控えたあづま海水浴場と小浜海水浴場の清掃ボランティアを実施しました。

早朝から両海水浴場に合計44人の会員が集まり、ブルドーザーやバックホー、ショベルカーなどの重機を巧みに操り、荒れた砂浜の整地や海辺に打ち上げられた1年分の流木除去、沿道の木の伐採などを行いました。

木場会長は、「海水浴場に来た人が、今年の夏も楽しく、安全に喜んでもらえるように清掃作業に取り組みました」と話しました。

文化芸術による子供の育成事業

和太鼓の響きを肌で感じて



←出演者・生徒全員で披露した踊り

6月8日、長島中学校で、文化庁の「文化芸術による子供の育成事業」を活用した和太鼓集団「志多ら」（愛知県）の公演が平尾中学校との合同で開催されました。

この事業は、一流の文化芸術団体の鑑賞機会を子どもたちに創出することを目的として開催されるもので、今回は生徒のほかに保護者や校区の福祉施設の入所者も鑑賞に訪れました。

公演では、和太鼓や笛などの古典楽器の演奏を中心とした演目に生徒らは楽しんでいました。公演の最後には、6月のワークショップで練習した踊りを生徒・出演者全員で披露しました。

3年生の瀬ノ口龍輝さんは「今まで和太鼓をあまり目にする機会が無かったが、公演を通じて楽しく格好良いものと分かった」と話しました。



↑重機で整備されるあづま海水浴場